

令和2年度

租税教育実践発表会資料



東松島市立赤井小学校

教諭 豊原 麻弥

1 はじめに

学習指導要領では、『「税金の役割」について、租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることを理解できるようにする。その際、限られた財源をどのように配分するのかを決める責任は、国会や地方議会などの制度を通して、国民や住民にあることに触れるようにする』と定義されている。

私たちが健康で文化的な生活を送るためには、税金は必要不可欠なものである。しかし、公共サービスや教育などで直接関わる場面は多いが、それが税金によって賄われていると理解している児童は少ない。また、税金が使われている場面を言葉として理解していても、実際に目に見えない所で使われることが多いため、実感が伴っていない状況である。今後、納税者となって社会を支えていく立場になる児童に、税金に対する関心を高めさせ、自分事として捉えさせたいと考え本実践を計画した。

2 児童の実態

本学級は、男子15名、女子16名、計31名が在籍している6年生の学級である。今年度から、社会科の学習の配列が変わり、1学期に、納税が国民の三大義務の一つであることや、税金が生活を支えていることについて学習済みである。税に関する知識がどの程度定着したのかを判断するため、租税教室実施後に税に関するアンケートを行った。結果は以下の通りである。

1. 「租税教室」をして、どのようなことを考えましたか。
 - ・大切なもの（9）
 - ・必要、生活の役に立っている（5）
 - ・なくなったら大変（5）
 - ・公園、信号などいろいろなところで使われている（3）
 - ・1億円が重かった（3）
 - ・税に意味がある、税金はちゃんと納めよう、自分も払っている（各1）
2. 税金にはどんな種類がありますか。
 - ・消費税（29）
 - ・所得税（21）
 - ・自動車税、固定資産税、法人税（各5）
 - ・実在しない税（7）
3. 税金はどんなことに使われていますか。
 - ・公共で使うもの（学校、公園など）（17）
 - ・道路や信号、道路の修復など（14）
 - ・消防、警察（8）
 - ・病院、介護など（7）
 - ・学校で使うもの（6）
 - ・世のため、人のため（3）
 - ・復興（2）
4. 税金の使い道を決めているのは誰ですか。
 - ・内閣（8）
 - ・総理大臣（7）
 - ・国会（5）
 - ・えらい人（5）
 - ・税務署、銀行、分からない、自分たち（各1）
5. 税金について知りたいことを書きましょう。
 - ・消費税やその他の税金の使われ方（6）
 - ・税金の歴史（5）
 - ・税金の種類（2）
 - ・税率はなぜ上がるのか（3）
 - ・軽減税率について（2）
 - ・世界の税金の使われ方（1）
 - ・税金が少なくなったらどうするのか（1）

児童は、「租税教室」を通して、社会科の学習で得ていた税金についての知識を再確認することができたようである。様々な税金の名前が挙がり、関心の高さがうかがえる。しかし、税金が公共のために使われていることは知っていても、自分が納めている消費税との関連性を考えている児童は少ない。児童は自分の生活に関わる消費税に対する関心が高く、近く予定されている修学旅行での買い物の計画や、GOTO トラベルの適用で旅行代金が安価になったことも関心を高めている理由の一つであると考えられる。また、生活の中で消費税を払う際に、軽減税率について疑問に思う児童も多かった。

3 社会科との関連

政治・国際編	歴史編
<ul style="list-style-type: none"> ●国の政治の仕組みと選挙 <ul style="list-style-type: none"> ・国会の働き ・選挙のしくみと税金の働き ●子育て支援の願いを実現する政治 <ul style="list-style-type: none"> ・市議会の働き ・税金の働き ●震災復興の願いを実現する政治 <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興に向けた国の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●天皇中心の国づくり <ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新と天皇の力の広がり ●武士の世の中へ ●戦国の世から天下統一へ <ul style="list-style-type: none"> ○江戸幕府と政治の安定 ○明治の国づくりを進めた人々 ○世界に歩み出した日本

●：既習事項，○：未習事項

4 指導にあたって

児童の実態から、以下のことに留意して学習を進めていく。



- ・ 修学旅行のお土産代や義務教育期間の学費など、身近な題材から税金を考えるようにさせ、税金と自分たちのくらしが密接に関わっていることを感じ取らせる。
- ・ 消費税と深い関わりを持つ社会保障費について理解し、税金の必要性を感じ取らせる。
- ・ 税金の歴史など、興味があることについても触れ、必要に応じて変化する税制の仕組みなどにも関心が持てるようにする。


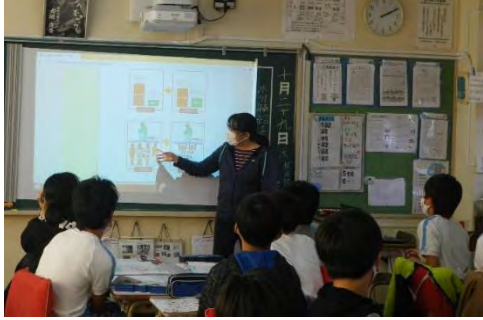
5 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	主な学習活動
1	自分たちのくらしと税金の関わりについて知る。	<p>・ 税務署よりゲストティーチャーをお招きして、租税教室を行う。</p> 

1 (本時)	自分のくらしと税金との関わりを確認する。	・租税教室で学習した内容を確認し、自分たちの生活と関連付けながら税金と自分たちの生活が密接にかかわっていることを理解する。
-----------	----------------------	---

6 学習過程

段階	学習活動	教師の支援・指導上の留意点
導入	1 租税教室の振り返りとして、「税金クイズ」に取り組む。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分たちのくらしと税金について考えよう </div>	「わたしたちのくらしと税金」表紙。 アンケート結果を提示する。
展開	3 税金の種類を知る。 ・消費税以外にも自分が納めている税金があることを知る。 4 税金の使いみちを理解する。 ・消費税は社会保障費（みんなの健康や生活を守るための支出）に使われることが多いことを知る。 ・自衛隊の活動も税金で行われている→ブルーインパルス 1 回の展示飛行は約 360 万円。 5 学校と税金の関わりを調べる。 ・義務教育期間で一人当たり約 8,301,000 円かかることから、1 億円では 12 人分の学費にしかならないことを知る。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	国税庁 HP「税の学習コーナー（発展編）」（税の種類と分類） 「わたしたちのくらしと税金」 P8 ・社会保障費が全体の 1/3 であることを見つけさせる。 ・宮城県の予算のうち 16.4% が教育費であることを知る。 ワークシート
閉	6 税金の使いみちの決め方を知る。	「わたしたちのくらしと税金」 P6 ・国民の代表者や住民の代表者が話し合っ決めて確かめる。

	<p>7 身近な消費税を計算する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の小遣い 5,000 円分買い物をしたら、消費税はいくら納めたことになるか友達と協力して計算する。 ・自分の小遣いのうち、355 円が国へ、100 円が県へ納められることを知る。 <p>8 納税の歴史を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金がお金になってよかったことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの中の「税の使いみちを決めるのは自分」という意見が実は大切な考え方であることを知らせる。 <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率について簡単に説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちのくらしと税金」P9 ・安定した税収につながることを、平等性などのメリットを考えさせる。
<p>まとめ</p>	<p>9 将来の税金について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障費が増えていること、消費税の増税分が当てられていることを知る。  <p>10 学習の振り返り</p>	<p>国税庁 HP「税の学習コーナー（入門編）」データ集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで社会を支えていく必要があることを理解できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを記入する。

7 児童の感想

税金にはあまり興味はなかったけど、改めて大事だと思った。税は昔からあるものでたくさんの税の種類があっておもしろかった。中学校に入ると約800万もかかって11ることには結構おどろいた。ちゃんと税金を納めようと思った。

私は税の事を聞いて、(自分は損してんねー)と分かったけど、本当は分かっていなかった。1億円は大きい額だと思ったのに、小中学生たのたの12人分では少ないとは...と思いました。これから税金を払おうと改めて思いました。

国の税金で道路や住宅ではなく一番教育費が多いという事を初めて知りました。大人なても、しっかり税金をはらって仕事をしたいです。

私はあまり税金は関係ないと思ってたけど、すごくたくさん種類があってびっくりしました。実際は私たちが税金を払っているんだと思いました。

税の学習をして税金の大切さに気がきました。もし税金が無かったら、今の生活は完全にこわれてしまうと思いました。前は税金が無い方が暮らしが楽になると思っていました。なぜなら税金をつくらなくて、結局は自分たちのお金だから意味がないと思っていたからです。しかし、税金によって自分の生活が救われていることにおどろきました。でも、税金は上手に使わないと社会や経済のほうがいにつまらなくなると思いました。今の内閣総理大臣に上手く使ってほしいです。そして、自分もお金を大切に使う、

8 まとめ

- 宮城県租税教育推進協議会の資料「わたしたちの暮らしと税金」や国税庁のHP「税の学習コーナー」を活用して、クイズ形式で内容を整理したり、新しい情報を基にしたりしながら学習ができた。
- 社会科の授業で、国の予算の決め方や税金が公共事業に使われることなどは学習済みでも、自分の身近な存在であるという認識は薄かったが、今回の学習を通して意識化を図ることができた。特に教育費や消費税の学習では、自分たちの学校生活が税金によって成り立っていること、自分たちも税金を納めていることに気づき、その大切さを実感する良い機会となった。
- 今年は感染症対策に税金が使われることが多く、TVやインターネットなどの情報をよく見て、関心を持っている児童が多かった。自分たちの納めた税金が、必要なことに使われるためには、信頼できる人を選んで投票することが大切であることに気付くことができた児童が多かった。

自分たちの生活と税金

名前（ ）

1. 小学生一人が6年間にかかる教育費は

約（①100万円 ②250万円 ③500万円）である。

中学校3年間では約（ ）万円

ということは・・・

小学校入学から中学校卒業までにかかる学費は（ ）円

1億円→（ ）人分

2. Aさんは修学旅行へ行って、おみやげ代として5,000円払いました。

Aさんが払った消費税は、いくらですか。

計算

Aさんが払った消費税は（ ）円

そのうち 78%が国へ→（ ）円

22%が地方へ→（ ）円

メモ

税の学習をして分かったこと, 気付いたこと, 考えたことを書きましょう。